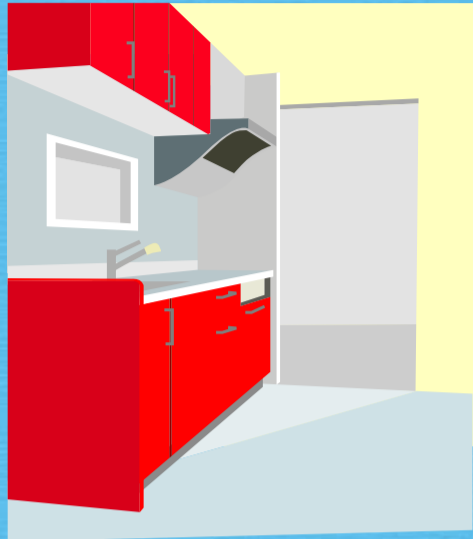


# 家のお手入れ



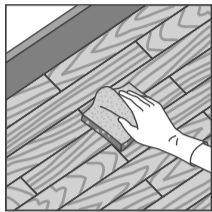
## ワックスのはがし方

樹脂系ワックスを使っていた床にニス塗る場合には、先に古いワックスをはがす必要があります。また、ワックスを塗り重ねているうちになんとなく、汚れたように黒っぽくなった場合も、一度ワックスをはがしてから塗り直すときれいに仕上がります。なお、ニス塗りから樹脂系ワックスに変えるときは、ニスをはがさずにそのままに塗ることができます。

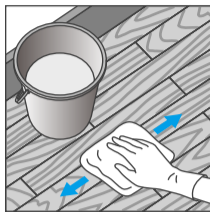


### 古いワックスのはがし方

**1** ワックスはがしの液を床にたっぷり塗る。液は原液のまま使えるものと薄める必要があるものがあるので、表示で確認する。アルカリ性なのでビニール手袋を必ず着用して作業すること。

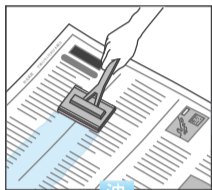


**2** 約3分おいてから、ナイロンタワシでワックスをこすり落とす。一度に取れない場合は、ツヤが残っている場所にもう一度はがし液をつけてこする。



**3** 2〜3回水拭きしてアルカリ分を取り除く。

## ニスを使ったあとの後始末



ニスを塗ったあとの用具は水につけておくと固まらず、楽にきれいにすることができます。



水性

### 水性床用ニス

古新聞などにすりつけて、できるだけニスを落とす。その後、十分に水洗いしてから台所用中性洗剤で洗い、水洗いしてから陰干しにします。



油性

### 油性床用ニス

古新聞などにすりつけて、できるだけニスを落とす。その後、ペイントうすめ液で十分に洗った後、台所用中性洗剤で洗って、水洗いして陰干しに。ただ、油性のニスをきれいに落とすには、ペイントうすめ液が大量に必要で、たいへん手間がかかるので、用具を使い捨てにするのも方法です。

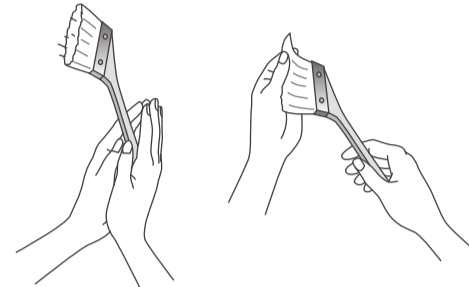
## フローリングの手入れ

Part 2  
【床用ニスの塗り方】

### One Point Advice

#### 新しいスジカイバケのおろし方

新しいハケを使うときは、できるだけ抜け毛を取っておかないと、抜け毛が塗装面について仕上がりが見苦しくなります。ハケの柄を両手ではさみ、クルクル回すようにして抜け毛を飛び出させてから、抜け毛を指でつまみ取り、さらに手で毛をしごくようにして、抜けやすくなっている毛を十分に取り除いてから使うようにしましょう。



## 床用ニスの塗り方

床用ニスを塗る場合は、晴れて風がない日に窓を開け、換気をよくして行いましょう。寒い季節に塗るとなかなか乾燥しませんし、雨の日に塗ると剥奪することがあるので注意してください。

\*UV塗装やセラミック加工のフローリングは、基本的にはそのまま床用ニスを塗ることはできません。

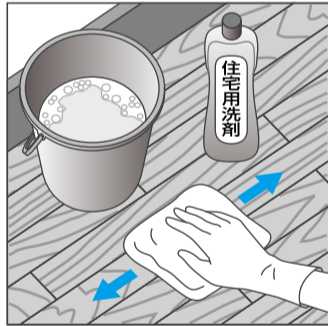
### 用意するもの

- サンドペーパー (240番)
- 当て木
- マスキングテープ
- 水性床用ニス (または油性床用ニス+ペイントうすめ液)
- 受け皿
- コテバケ
- ニス用スジカイバケ

## 1

### 洗剤拭きをする

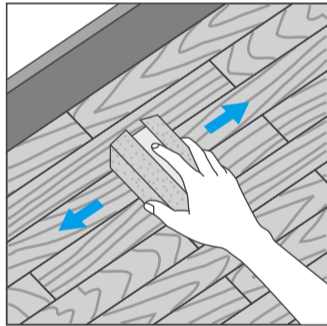
掃除機をかけ、住宅用洗剤などで汚れを落とす。台所など、油汚れがある場所には、住宅用アルカリ性洗剤で拭いたあと、水拭きしてよく乾かしておく。あるいは、塗料うすめ液を使うのも手。前にワックスがけしていた場合は、裏面を参考にしてワックスをはがすこと。



## 2

### サンドペーパーをかける

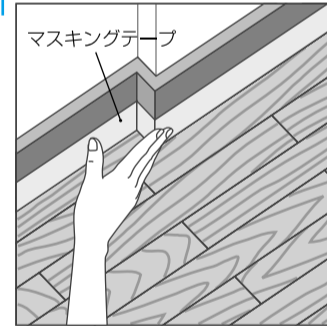
ニスのくいつきをよくするため、サンドペーパー(240番)に当て木をし、木目に沿って白い粉が出る程度にサツとかける。全体にかけ終わったら乾いた布で粉を拭き取る。サンドペーパーをかえなくても白い粉が出ない場合はUV塗装やセラミック加工が施されているフローリングと考えられる。



## 3

### マスキングテープを貼る

幅木など塗料がつくと困るところにマスキングテープを貼る。



## 4

### ニスを混ぜる

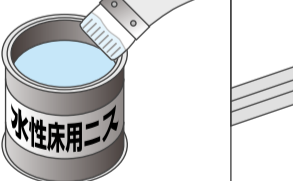
水性床用ニスの場合、割り箸などで缶の底からよく混ぜ合わせる。油性床用ニスの場合は、缶にペイントうすめ液を加えてから混ぜ合わせる。うすめ液の量は、ニスの伸びがよく塗りやすい濃度を目安に。作業中に濃くなった場合もうすめ液を加えて調整するとよい。



## 5

### スジカイバケにニスをつける

ハケはドゥプリとニスに浸さず、1/2か3/1程度につけて、缶の縁でよくしごいて余分なニスを落とすから塗り始めるのがコツ。

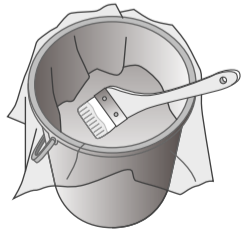


## 6

### 隅を塗り、マスキングテープをはがす

最初にスジカイバケで隅の部分に塗る。隅を塗り終わったら、ニスが完全に乾かないうちにマスキングテープをはがす。このとき、はがしたマスキングテープがニスに触れないように注意。

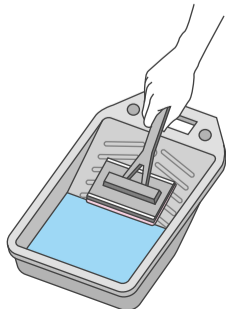
使いかけのハケは水に浸けておく。固まらない(ニスが水性でも油性でも)。容器を汚したくない場合はビニール袋を敷き込むとよい。



## 7

### コテバケにニスをつける

受け皿にニスをあける。コテバケにニスをつけたら、皿の高い部分で余分なニをしごく。



## 8

### コテバケでニスを塗る

窓やドアを開けて換気、風通しをよくし、最後が出口になるように塗る手順を考えてから塗り始める。コテバケは、手前に引くように一方方向に動かして塗っていくのがポイント。床用ニスはほとんど無色透明なので塗り残しがないか、よく確かめながら塗るようにする。

## 9

### ニスを完全に乾燥させる

水性か油性かで乾燥時間が異なるので、説明をよく読み、完全に乾くまでは歩かないようにする。家具を置く場合は、さらに時間をおいてから設置したほうが安心。

